

科目名 放射線安全管理学

1 単位 30 時間 夜間部 4 年 後期 担当講師 大谷 浩樹

教育目標

放射線技師として 1 人立ちできる放射線安全管理学を教授する。このため、スライド、プリント、機器等により効率的に教示するとともに、管理学演習も十分行う。

使用教材 プリント

推奨参考書 医療領域における放射線管理マニュアル 医療放射線防護連絡協議会編 日本アイトープ協会刊

出欠確認方法 点呼 試験 有 評価方法 試験・その他（授業中に行う演習の結果も評価に加える）

授業概要（後期）

- 1 回 ICRP 等，近年の放射線利用に係わる規制についての情勢
- 2 回 放射線防護の基本的考え方
- 3 回 患者の放射線防護について
- 4 回 作業室等の構造設備の基準について
- 5 回 放射線の遮蔽について
- 6 回 被ばく量の算定について
- 7 回 RI の取扱（法的規制に関して）
- 8 回 汚染除去
- 9 回 放射線管理に用いる測定器（個人モニタリング）
- 10 回 放射線管理に用いる測定器（環境モニタリング）
- 11 回 放射線作業従事者の管理（教育・訓練）
- 12 回 同上（健康診断）
- 13 回 記帳記録に関して（RI 等の使用関係）
- 14 回 記帳記録に関して（測定等の記録に関して）
- 15 回 許認可申請ほか

【実務経験】

診療放射線技師として国立病院等に 6 年間勤務し、その後大学教員として教授すると同時に都立病院等で診療放射線技師および医学物理士として非常勤で 24 年間勤務した。その実務経験をもとに診療放射線を安全に使用し活用するための放射線防護および関連法律を教授します。